

郷土誌

全

265

206



特20  
648



郷土誌

明治  
43. 8. 12  
内交



目 録

第一 學 校……………一

第二 枚田村……………四

第三 朝來郡……………二四

第四 但馬國……………三四

第五 兵庫縣……………四一

郷土誌 全

第一 學 校

諸子の通ふ枚田郡小學校は、和田山の南の端にあつて、  
 役場と隣つてゐる。前には圓山川の水さらくと流れ、  
 後には幽香山の松青々と茂り、大きい校舎美しい庭園  
 などえりいへない眺である。

五百餘の児童は、毎日教室ではまじめに勉強し、運動場  
 ではげんきよく遊んでゐる。こんな立派な學校に通ふ  
 諸子はまことに幸福ではないか。

方位(八方)

方。要

位。項



位置(あり場所)  
校舎

校地  
職員  
児童  
學級

學校ノ圖

學校の圖



要 項	氣 候 産 物	<p>和田山は本村の中心地で、戸數二百あまり、商店、工場などがあつて商業工業が盛であり、他の六ヶ村は山の麓や田の中にちらばつてゐて、たいてい農業、養蠶などをし暮してゐる。氣候はわりあい寒くて雨が多く、農村からは米、麥、繭などを産し、繭は製絲場でひいて生糸にするのである。</p>
--------	------------------	---

位置 朝來郡の北  
地勢 (土地のしやう)

山はたいてい長くつづいてゐる。これを山脈といふ。山脈と山脈との間には谷がある。川は谷から出て、低いところを流れて海にはいつてゐる。これを



河。流。と。い。ふ。河。流。に。沿。て。道。路。鐵。道。な。ど。が。通。じ。て。交。通。が。便。利。で。あ。る。

山脈

河。流  
本流  
支流

村。落  
農。村  
商。業。地

戸。數。 ( 家。か。ず )

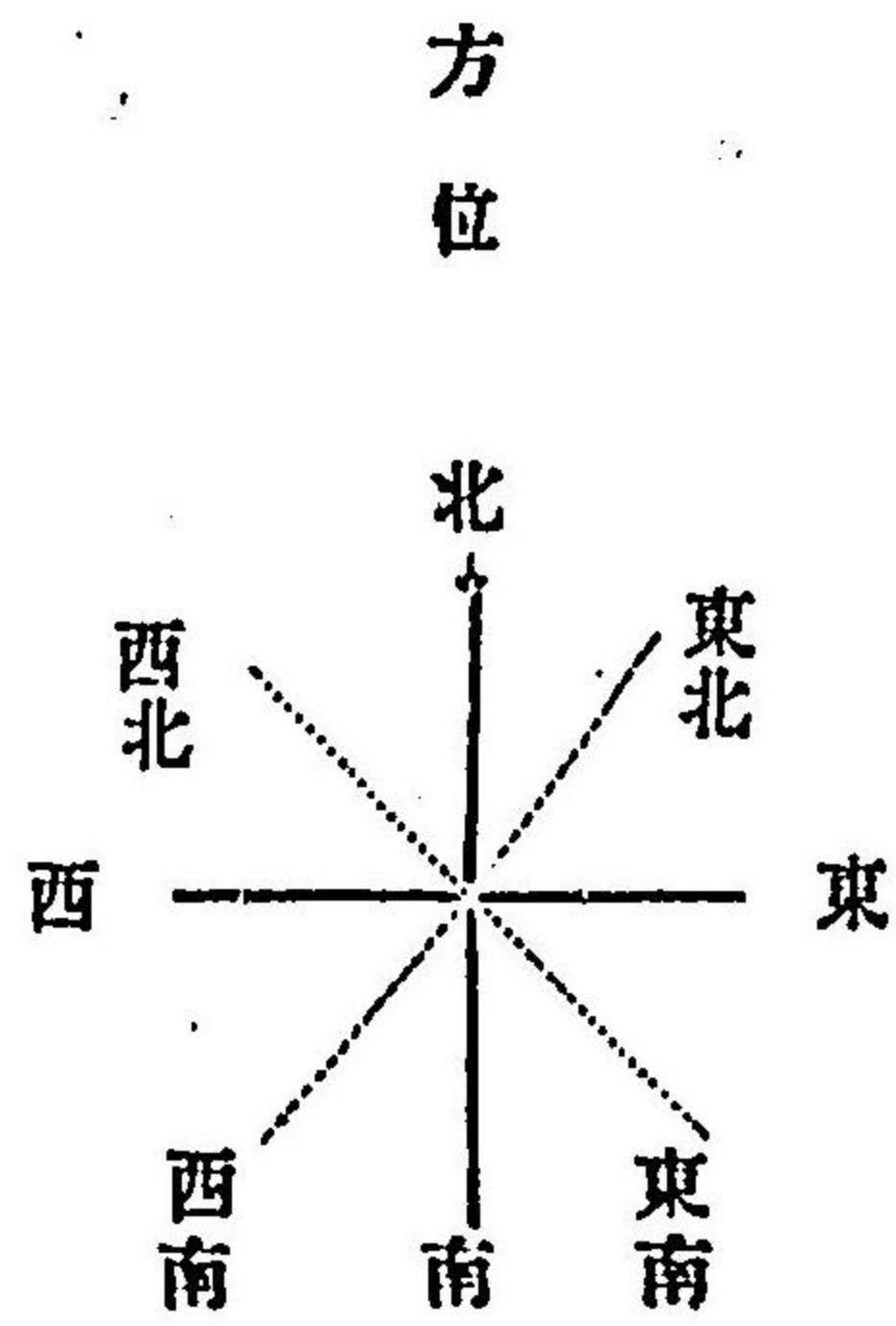
人。口。 ( 人。か。ず )

氣。候。 ( 天。氣。の。も。や。う )

産。物。 ( その。土。地。で。で。き。る。品。物 )

農。業。 農。業。  
工。業。 工。業。  
商。業。 商。業。

地。圖。 ( 土。地。の。も。や。う。を。上。か。ら。見。お。ろ。し。た。圖 )



境。界

山

小。さ。い。所

道。路

河

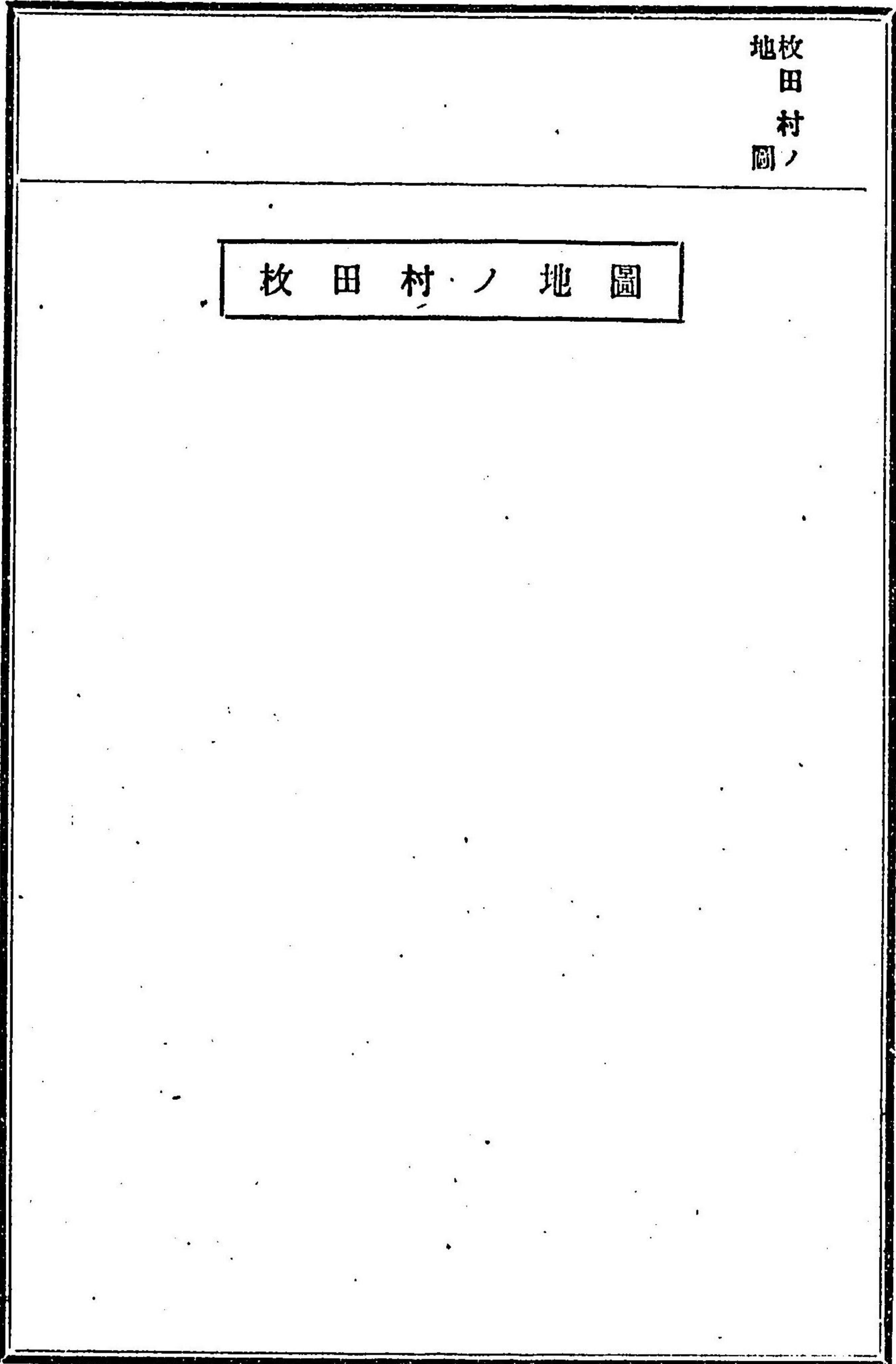
大。き。い。所

鐵。道



枚田村ノ  
地圖

枚田村ノ地圖



和田山  
役場

さあ、これから諸子の郷里である枚田村を一週せう。學校の隣りの役場では、時々村會議員を集めて村會を開き、學校のことや、避病舎のことや、害虫を驅除したり、堤防を築いたりすることなどを相談し、村長がこれをやつていく。これ等のことをするのに多くの費用がいるから、諸子は租税を役場に納めねばならぬ。

役場

村長

助役

収入役

書記



村會  
租稅

警察署 前の縣道を北に進むと、左に和田山警察署がある。生野にはその分署があり、矢名瀬・竹田などには駐在所がある。つて、諸子が安心して暮すことの出来るやうに、けんくわを静めたり、悪人を捕へたり、清潔法を行つたり、風俗を取りしまつたりする。これをする人は署長・巡查である。ここから出てゐる電話線は分署や他の警察署に通じてゐるのである。

警察署 分署

駐在所

署長

巡查

電話

郡役所

ほごなく右に朝來郡役所がある。時々郡會郡參事會を開いて、郡全体のことを相談し、郡長がこれをやつていく。また役場と縣廳との間の取次などもしていく。學校を見廻る郡視學もここにせられる。

郡役所

郡長

郡視學



郡書記 技手

郡會

なほ北に進むと、東から來る國道に出逢ふ。此邊が和田山の中央で、旅館商店などが軒をならべて、商業が盛である。雜貨店であきなつてをる商品はたいてい大阪神戸などから仕入れたもので、村の人々に小賣したり、時々小店に卸したりする。

小道を左にはいると二宮神社である。

商店 雜貨店  
菓子店

- 魚店
- 酒店
- 藥店
- 宿屋 料理屋 散髮屋 鍛冶屋 材木屋 指物屋 下
- 駄屋 染物屋 傘屋

銀行會社

次は朝來銀行和田山支店。矢名瀬に本店があつて、ここと竹田とに支店がある。銀行はおもに金錢の預入や、貸附などをすると、たいてい會社のしぐみになつてある。會社といふのは、多くの人が出し合せた金を資本として仕事をし、得た利益を分け取りするしぐみで



ある。

銀行

會社

郵便局

次は和田山郵便局である。ここで諸方の局から送つて来た郵便物を区内に配達したり、はいつて来た郵便物を諸方の局へ送つたりする。また電報や郵便貯金や爲替などをも取扱つてゐる。その取締をしてゐる人は局長である。

圓龍寺

郵便局の隣に圓龍寺がある。

郵便局

局長

郵便物

通常郵便

小包郵便

郵便貯金

通常貯金

切手貯金



爲替

電信

町はつれに生産組合の製糸場がある。枚田・東河・大藏・糸井の四ヶ村の聯合である。生産組合は産業組合の一つで、組合員が權をもちより、これを生糸にひいて値よく賣るので、その利益は出金の口數によつて組合員に分けるのである。その取締をしてゐる人を組合長といふ。

産業組合

信用組合—金を安く組合員にかす組合

購買組合—組合員が品物を安く買ふ組合

販賣組合—組合員の品物を集めて高く賣る組合

生産組合—品物に手を加へて賣る組合

組合長

組合員

製糸場

停車場

町の端から二町ばかりで和田山驛につく。このあたりははや養父郡の大藏村である。豊岡の方へいくのは山



陰東線、姫路の方へいくのは山陽線(播但線)、福知山の方へいくのは京都線である。驛は人や荷物の運送をする所で、この土地の産物はたいていここに集り、汽車で諸方に送られるのである。その取締をしてゐる人は驛長である。

停車場

驛員

汽車

信用組合

驛から引きかへして町の中央を東にはいると、郡長の舎宅に隣つて和田山信用購買販賣組合がある。枚田東河糸井大藏四ヶ村の聯合で、組合員に金を貸したり、商品を安く買つたりして居る。

税務署

ほどなく左に和田山税務署がある。朝來養父兩郡の家々の財産を調べて、國税を附課する所で、その長官は税務署長である。

税務署



署長  
稅務屬

玉置村 町をはづれ玉置橋を渡ると玉置村である。玉置橋は圓山川にかかつてゐて、長さ五十五間ほどある。圓山川は圓山から出て橋の上で與布土川を合せ、橋の下で東河川を合せて養父郡にはいつてゐる。

護念寺 玉置村は東に魚臥山を負ひ、村端に牛市場があり、山の麓に護念寺がある。枚田岡立ノ原は玉置村に屬してとる。

桑原 玉置村を過ぎ、枚田屠牛場を左に見て桑原につく。桑原の東は梁瀬村で、村の南を流れてゐる與布土川は、その

枚田岡立ノ原 奥の與布土谷から出てゐるのである。

法興寺 引きかへして里道にはいり、與布土川にそうて下ると、川向ひに枚田岡と立ノ原とがある。ともに玉置村についてゐる。法興寺を過ぎ、城山の麓を通つて比治村につく。桑原とは大谷山をへだて、相對して居る。市御堂を

過ぎ竹田村を左に見て圓山川を渡ると西枚田村である。

西枚田 赤淵神社 西枚田は和田山につぐ大村で縣道に沿ふて長くつづいてゐる。その中央、内高山の麓に赤淵神社がある。村社

で表米親王を祭り、毎年十月十七日ににぎやひな祭禮がある。社前に神淵寺があり、やゝはなれて惠林寺があ



忠魂碑

縣道を北に進み、はうきをまはると學校である。

御覽なさい。學校の裏に忠魂碑が立つてゐるでせう。あ

れは明治三十七八年戰役に出て、國家の爲めに死んだ

枚田村の軍人十六名を祭つたのです。その中にも安積

安積  
十太夫

十太夫氏はマホアサンに騎兵斥候に出て、敵兵の不意

討にあひ、重いてきづを受け、血潮にまみれながらも、大

切な地圖を砂の中にいけて、天晴な戰死をとげた人で

す。それで在郷軍人が毎年招魂祭を營んでこれ等名譽

の戰死者を祭るのである。諸子も大きくなつたら勇ま

しい軍人となつて、村のため國のためにつくさねばな

らぬ。

要項  
枚田村

建物

神社

寺院

神社

寺院

自分ノ村

戸數

人口

村會議員

神社



寺(庵)

第三 朝來郡

位 置 朝來郡は但馬國の南端にあつて、東は丹波國、南は播磨國に境し、北は養父郡につづいてゐる。東西五里、南北六里、面積は十七方里。

區 劃 枚田、東河梁瀬、與布士、粟鹿、竹田、中川、山口の八ヶ村と生野町とに分れ、戸數七千餘、人口は四萬に近い。

地 勢 生野は南のはてで、土地もつとも高く、北にいたるに従つてだんく低くなつてゐる。四方は山で圍まれ、内高山、粟鹿山、金梨山、愛宕山、妙見山などが聳えて居る。圓山

交通 川は圓山から流れ出て、神子畑川、與布士川、東河川などの支流を合せて養父郡にはいつてゐる。その流域は平野が開けて、加都たんぼ、大月たんぼなどがあり、農産多く村落うちつづいて交通も便利である。

氣候 播但線は和田山から圓山川の流域にそひ、竹田、新井、生野をへて飾磨にいたり、京都線は與布士川にそひ、矢名瀬、夜久野をへて京都にいつてをる。その生野と夜久野とは長いトンネルがある。

産物 氣候はあまり枚田村とかはつたことはないが、生野は土地が高いから、夏は涼しく、冬は雪がやゝ多い。

産物には繭、生糸、生野の金、銀、銅、竹田の塗物などが名高



鑛山業		町村		人口	戸數	面積	位置	要項
鑛山業	産物	八ヶ村	一町					

朝來郡ノ地圖

朝來郡ノ地圖



東河

枚田村の東北は東河村で、東河川が流れてゐる。柳原岡田・和田・白井などを過ぎると夜久野である。和田には東河校があり、白井には大社がある。

梁瀬

枚田村の東は山東で、梁瀬・與布土・粟鹿の三ヶ村がある。矢名瀬町は和田山から一里で、與布土川に沿うて商業が盛である。中ほごに朝來銀行があり、町はづれに梁瀬校・日下製絲場がある。京都線と國道とはここから磯部谷にはいつて、夜久野へいつて居る。

松岡新右衛門

樂音寺には松岡新右衛門の墓がある。松岡新右衛門は百姓のために租税を少くすることを將軍にねがつて鳴ながしにせられた人である。

粟鹿

梁瀬村の東は粟鹿村で、遠坂峠を越すと丹波である。粟鹿山は郡中第一の高山で、高さ三千尺ふもとに粟鹿神社がある。縣社で、但馬五社の一つである。早田には大同寺といふ古い寺がある。

與布土

梁瀬村の南は與布土村である。與布土川に沿うて上り、與布土坂を越すと青倉神社にまいることができる。また生野町の黒川にも越される。

青倉神社

寶珠峠

梁瀬と竹田との間の寶珠峠には古い塚がたぐさんある。世にこれを百塚といつて居る。

竹田

竹田町は圓山川にそひ、虎臥山の麓に連なる細長い町で、和田山から一里あまり。安井口に竹田校があり、中ほ

竹田町



ごに竹田驛があり、驛の近くにたくさんの寺がある。竹田椀は此地の名産である。

虎臥山

虎臥山は金梨山と相對し、山上に城址がある。今から五百年ほど前、山名宗全が築いたので、そのけらいがこれを守つてゐたが、豊臣秀吉のために亡された。そこで赤松廣道が其あとをついでなかよく治めてゐたが、關原の戦に大阪方に味方をしたから、徳川家康が怒つて自殺を命じ城もとうとう落ちてしまつたのである。金梨山は石材を産し、愛宕山は櫻で名高い。

愛宕山

中川

竹田村の南は中川村である。圓山川に沿うて進むと物部立脇などがある。物部は昔兵士のいたところ、立脇に

山口

は中川校がある。川向ひは伊由谷である。

新井

次は山口村、新井には新井驛製絲場などがあつて、やや賑かである。神子畑川に沿うて右にはいと、佐中村に

學校林

わが學校林があり、神子畑には鑛山がある。學校林は進

原六郎

藤氏から借入れてゐるので、廣さ五十町歩ばかり、年々多くの杉檜などを植込んでいく。これが數十年の後に立派な木材となり、本校の基本財産となるのである。原六郎氏は進藤氏から出た人で、アメリカイギリスなどへ洋行し、かへつてから横濱で銀行の頭取になつた人である。

神子畑

神子畑鑛山は生野鑛山の分鑛で、ほり出した銀は専用



道路で生野に運んでゐる。

南八郎

新井から橋を渡ると山口村。妙見山の麓に南八郎の墓がある。南八郎は今から五十年ほど前、徳川幕府のわがまゝなのを憤つて、平野國臣等と兵を生野に擧たが、出石豊岡などの大名に討たれ、妙見山の戦破れて、平野は捕へられて殺され、南八郎は麓の岩の上で十三人と共に自殺をした。後の人硯を立て、これを祭る。

議論より實をおこなへなまけ武士

國の大事をよそに見る馬鹿

生野

圓山からだんく登つて峠を越すと生野町である。口銀谷町は市川に沿ひ、戸數四百あまり、生野校生野分署

鑛山

生野驛鑛山の工場などがあつて、郡内第一の都會である。鑛山は生野銀山ともいひ、三菱合資会社の所有で、年々多くの金銀銅などを産する。中でも銀がもつとも多い。口銀谷奥銀谷は全くこの鑛山のためにできた町である。

大明寺

市川の上流、黒川村には大明寺といふ名高い寺がある。これから坂を越すと奥布土に出る。

吾等はこれで朝來郡を一週したからこれから、但馬旅行にかからう。

停車場



社寺  
 名所(名高い所)  
 舊蹟(ふるいのこりもの)  
 名高い人

第四 但馬國

位置 但馬國は兵庫縣の北に位し、東は丹波丹後に、南は播磨に、西は因幡に界し、北は日本海に臨んでゐる。これを分けて朝來養父出石城崎美方の五郡とする。

地勢 山脈國內に走り、粟鹿山床尾山妙見山永山などがある。平地が少い。圓山川は源を圓山より發し、國の東部を

境界 界

區劃 劃

地勢 勢

水源 源

河口 貫き、與布土川大屋川八木川出石川などを合せて日本海にそゝいでゐる。長さ十七里、その中豊岡から河口の津居山まで三里の間は小舟を通ずることができ、圓山川の西に竹野川矢田川などがある。

交通 山陰東線は和田山から起り圓山川に沿ひ、八鹿豊岡城崎を過ぎ、日本海岸を西に走つて鳥取に通じてゐる。日本海は波が荒くて、冬はほとんど舟が通はない。

氣候 土地が北向であるから、氣候は一ばんに寒くて、雨雪が多い。海岸地方はことに雪が多くて、冬は全く交通が出來ない。

産物 それ故、米麥なども出來るが質がよろしくない。たゞ但



馬牛と蠶業とは昔から世に知られて居る。

要 項 位 置

郡 名

地 勢 山 脈

河 流

氣 候

産 物

養 父

和田山から北に進むと養父郡で、養父市場には養父驛

養父市場

養父神社などがあつて牛市が盛である。程なく大屋川

を渡り八鹿につく。大屋川の上流に名高い天瀧がある。

八鹿村

八鹿は和田山の北三里あまり、八木川に沿ひ、郡役所蠶業學校八鹿驛などがある。ここから西にあたつて妙見山がある。山上に名草神社があり、杉の良材を産する。

池田草庵

八鹿から北に進むと、宿南江原をへて豊岡につく。宿南には池田草庵の青溪書院のあとがある。池田草庵は名高い學者で、但馬聖人といはれてゐる。江原には江原驛がある。

出 石

出石町

八鹿の下から右にはいと、峠を越して出石町につく。出石町は郡の中央に位し、出石川に沿ひ、戸數千餘、もと



大名のゐた所で、郡役所、稻荷神社、宗鏡寺などがある。宗鏡寺は澤庵和尚のゐたところで、出石焼は此地の名産である。

出石神社

町からはなれて出石神社がある。國幣中社で天日槍を祭る。

城崎

豊岡町は和田山から八里、但馬第一の都會で、戸數千三百、もと大名のゐた所で、郡役所、區裁判所、監獄、署、中學校、郡立高等女學校、豊岡驛などがある。商工業が盛で柳行李を産す。

豊岡町

玄武洞

豊岡から圓山川の下流に沿うて下ると川向ひに名高い玄武洞がある。白の形をした岩をいくつも積み重ね

城崎温泉

たやうな洞穴が四つばかりある。なかくの見物である。程なく城崎温泉。一に湯嶋温泉ともいつて、年中浴客がなかく多い。ここに城崎驛がある。麥稈細工は此地の名産である。

津居山港

津居山は圓山河口の小嶋の上にある漁村で、近傍に日和山がある。日本海の荒波が海岸の岩根にあたつてくだける景色は何ともいへない。

大乘寺

城崎から竹野河口の竹野を過ぎ、海岸に沿うて西に進むと、うちつづく峠を越して香住につく。香住の近くに名高い大乘寺がある。



美 方	それから矢田川を渡り、濱坂町に出る。濱坂は戸數千餘、
濱坂町	ちくは針などを産す。西に諸寄港がある。この海岸を
諸寄港	雪の白濱といつて景色がよい。
村岡町	濱坂から南に進み、湯村の温泉をへ、春木峠を越して、村
岡町	に出る。村岡は昔大名のゐた所で、郡役所がある。そ
れから八木谷に出で、八木川に沿うて八鹿に至り、無事	
に和田山にかへる。	
要 項	郡役所
社 寺	
名 所	

位 置	兵庫縣は我國の中央にありて、北は日本海に面し、南は
管 轄	瀬戸内海に臨めり。但馬播磨淡路の全部と攝津丹波の
	一部とよりなり、分つて二市(神戸姫路)二十五郡とす。
漁 業	漁 業
林 業	林 業
停車場	停車場
産 物	産 物
第五 兵庫縣	



地勢  
 中國山脈  
 瀬戸内海  
 水運陸運  
 交通

中國山脈は但馬播磨の境を走り、支脈南北に延び笠形山七種山書寫山摩耶山武庫山などあり。神崎川明石川加古川市川揖保川千種川など中國山脈より出で、南流して瀬戸内海に入る。瀬戸内海は波靜にして水運によるしく、沿岸には平野開けて、陸運また便なり。山陽本線は神戸より姫路を過ぎて下關に至り、支線飾磨より和田山に通ず。東道線は神戸より大阪を過ぎて東京に至り、坂鶴線は尼崎より福知山を過ぎて舞鶴に達す。氣候南に至るに従ひ暖にして雨少し。瀬戸内海沿岸の平野よりは良米を産し、沿海の地には鹽を産す。

要項管轄

但馬  
 播磨  
 淡路  
 攝津  
 丹波

地勢 山脈

河流



但馬と播磨

位置 北日本海に面す

地勢 山多く平野少し

川は北流す

氣候 寒くして雨多し

産物 繭牛

交通 水運陸運共に不便

住民 一方里に一千七百人

南瀬戸内海に臨む

山少く平野多し

川は南流す

暖にして雨少し

米鹽

共に便利

一方里に三千五百人

兵庫縣ノ畧圖

兵庫縣ノ畧圖



和田山より播但線にて生野寺前鶴居福崎等の諸驛を過ぎ姫路に達す。

姫路市

姫路市は和田山より十六里市川の流域にあり。人口およそ四萬播磨第一の都會なり。白鷺城市の中央に立ち周圍に市役所第十師團司令部師範學校中學校高等女學校縣立病院などあり。草細工は市の名産なり。姫路市の南に飾磨港あり。

市。

市とは人口二萬五千以上の都會にして市役所を置き市會市參事會を開き市長ありてこれを治むる所をいふ。

師團。

師團は歩兵四個聯隊と騎兵砲兵工兵輜重兵とより

成り約一萬の兵士あり。全國に十九の師團あり。

龍野

姫路より西には龍野山崎赤穂舟坂山などあり。龍野は

赤穂

揖保川に沿ひて醬油の産多く赤穂は千種河口にあり

四十七義士

て多く鹽を産す。大石良雄以下四十七義士は赤穂の忠臣なり。

舟坂山

舟坂山は岡山縣との境にあり。兒嶋高德が後醍醐天皇をとりもごし奉らんとて待ち受けたる所なり。

姫路より東すれば加古川の流域に三木加古川高砂などあり。三木は双物を産し高砂の近傍には四ヶ名所あり。

明石海峽町

明石町は明石河口にあり。明石海峽を隔て淡路嶋に



人丸神社

對す。町の北に農學校、女子師範學校、人丸神社、農事試験場などあり。人丸神社は柿本人麿を祭れる社にして風景よろし。

ほのぼのと明石の浦の朝霧に

鳴がくれ行く舟をしを思ふ

淡路嶋

淡路嶋は瀬戸内海の一大嶋にして、南北に長く、周回三十五里あり。北は明石海峡にして、岩屋の燈臺あり。東は由良海峡にして、由良の要塞あり。その北に洲本町あり。淡路第一の都會にして、淡路焼を産す。西は鳴戸海峡を隔て、四國に對す。

舞子

明石より東すれば舞子須磨を過ぎて神戸に至る。舞子

須磨

には名高き舞子公園あり。白砂青松、長くつづきて、景色いはん方なし。須磨には須磨離宮、須磨寺あり。一の谷鵜越などはその北にあたる。

神戸市

神戸市は和田山より二十七里、名高き開港場にして、神戸兵庫の二港に別れ、人口四十萬、貿易はなはだ盛なり。市内に縣廳、地方裁判所、市役所、高等商業などあり。また湊川神社、諏訪山公園、布引瀧など遊覽の地多し。

市役所

神戸驛の近くに市役所あり。驛前に湊川神社あり。別格官幣社にして、楠木正成を祭る。境内に「嗚呼忠臣楠氏之墓」といふ石碑あり。

湊川神社

地方裁判所

神社の東に地方裁判所あり。區裁判所の裁判にふふ



縣廳

くなるもの、及び一層大なる事件を裁判する所なり。縣廳は兵庫縣全体を治むる役所にて、教育衛生、社寺、兵事、警察、土木、農商、工租、税の事などをつかさどる。長官には知事ありて、縣會、縣參事會の決議をとり行ふ。縣の下に郡市あり。郡の下に町村あり。郡には郡長、市には市長、町には町長、村には村長ありて、上官の指揮命令に従ひて、部内の政治をつかさどる。

町(町役場)町長

郡(郡役所)郡長

村(村役場)村長

縣(縣廳)知事

市(市役所)市長

公誼訪山園

縣廳の北に誼訪山公園あり。神戸、兵庫の二港、眼下に

開港場

見下され、内國、外國の汽船入るあり。出るあり。波止場につきて荷物の積み卸をなせるもあり。かくて此地の綿糸、燐寸は船にて外國へ輸出され、鐵、石油などは船にて此地に輸入せらる。神戸港の如く外國と貿易する港を開港場といひ、全國に四十餘の開港場あり。海岸通に外國人の居留地あり。外國の領事館ありて、貿易、居留民などを保護せり。

領事館

學校

その他、高等商業中學校、高等女學校などあり。學校には小學校の上に中學校、高等女學校あり。その上に高等中學校、帝國大學などあり。蠶業學校、農學校などの實業學校、高等商業、高等工業などの専門學校、その他



御影	西宮	尼崎	伊丹	有馬	篠山
<p>師範學校の上に高等師範學校、陸軍海軍などの學校もありて何れの道にも進むことを得るなり。</p> <p>神戸の東御影に御影師範學校あり。西宮に惠比須神社あり。此邊一たいの海岸を灘といひ、有名なる酒の産地なり。</p>	<p>尼崎は神崎川の下流にあり。阪鶴線の起点なり。阪鶴線に沿ひ伊丹三田柏原福知山(京都府)などあり。伊丹は酒の名産地なり。線路よりやゝ離れて有馬に有馬温泉あり。篠山に聯隊あり。</p> <p>福知山より京都線に乗れば、和田山に達すべし。</p>				

要項	縣廳	縣會	地方裁判所	區裁判所	學校	師團



產物 農產

牧畜

養蠶

林產

鑛產

水產

工業



名所舊蹟



郷土誌 全終

明治四十三年八月一日印刷  
明治四十三年八月十日發行

牧田 高等 小學校 代表者

原籍 兵庫縣神崎郡粟賀村ノ内粟賀村八拾  
三番屋敷

住所 兵庫縣朝來郡牧田村ノ内和田山村貳  
拾三番屋敷

編輯兼發行者 高橋 芳太郎

兵庫縣朝來郡牧田村ノ内和田山村四  
拾七番ノ壹番屋敷

印刷所 吉田 愛子

265  
206



郷土誌 全終

明治四十三年八月一日印刷  
明治四十三年八月十日發行

枚田 尋常高等 小學校 代表者

原籍 兵庫縣神崎郡粟賀村ノ内粟賀村八拾三番屋敷

住所 兵庫縣朝來郡枚田村ノ内和田山村貳拾三番屋敷

編輯兼發行者 高橋 芳太郎

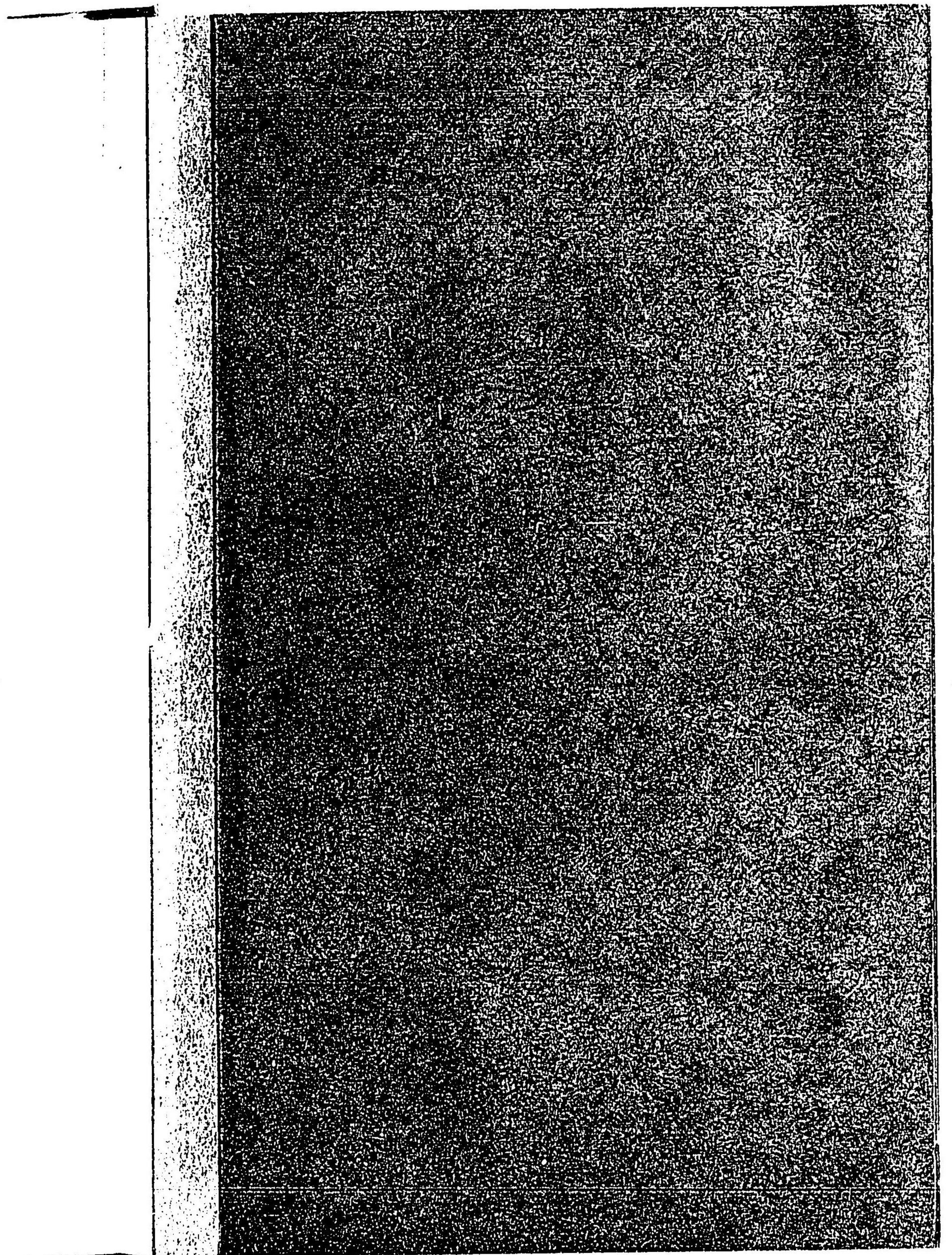
兵庫縣朝來郡枚田村ノ内和田山村四拾七番ノ壹番屋敷

印刷所 吉田 愛子

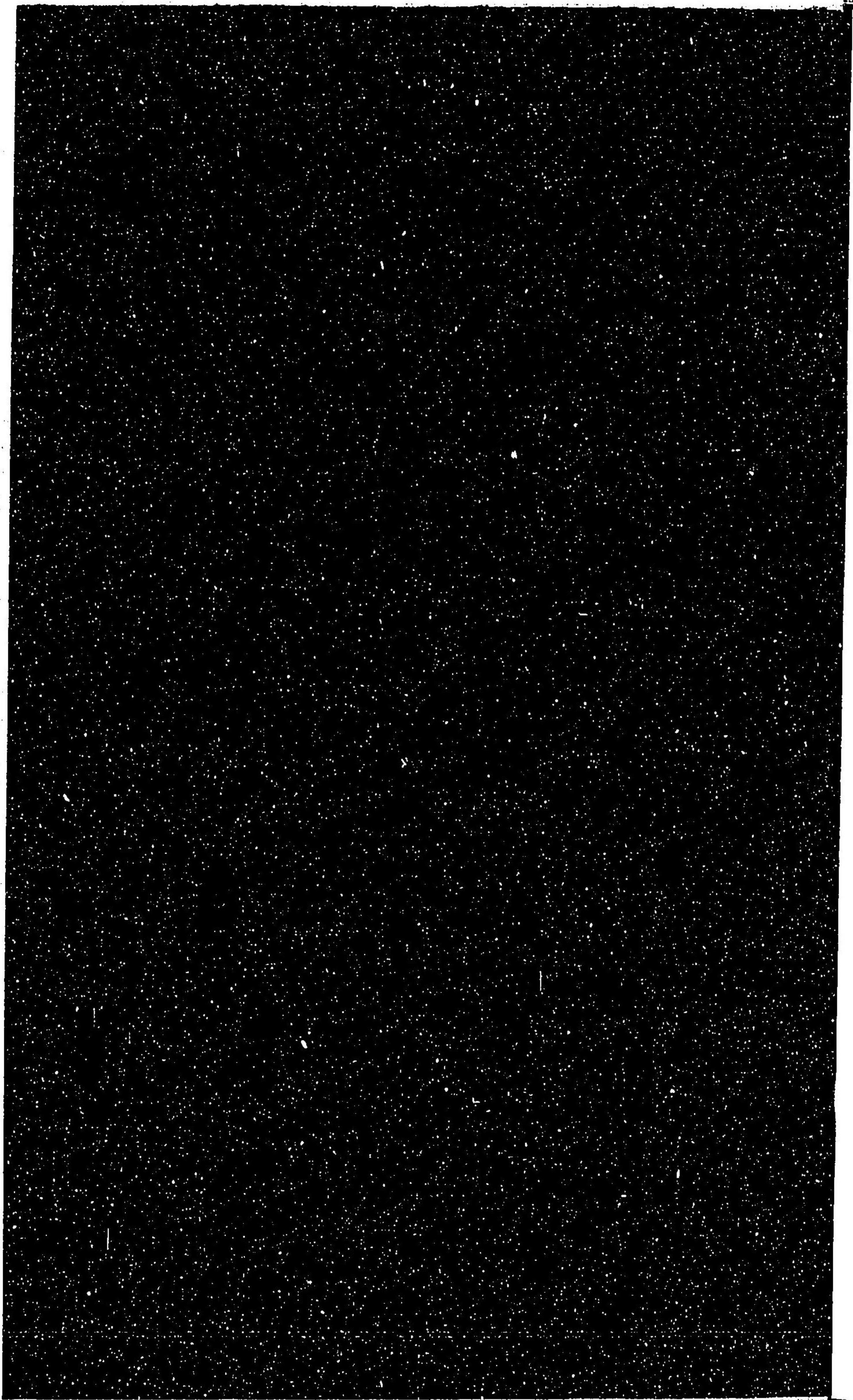
265

206

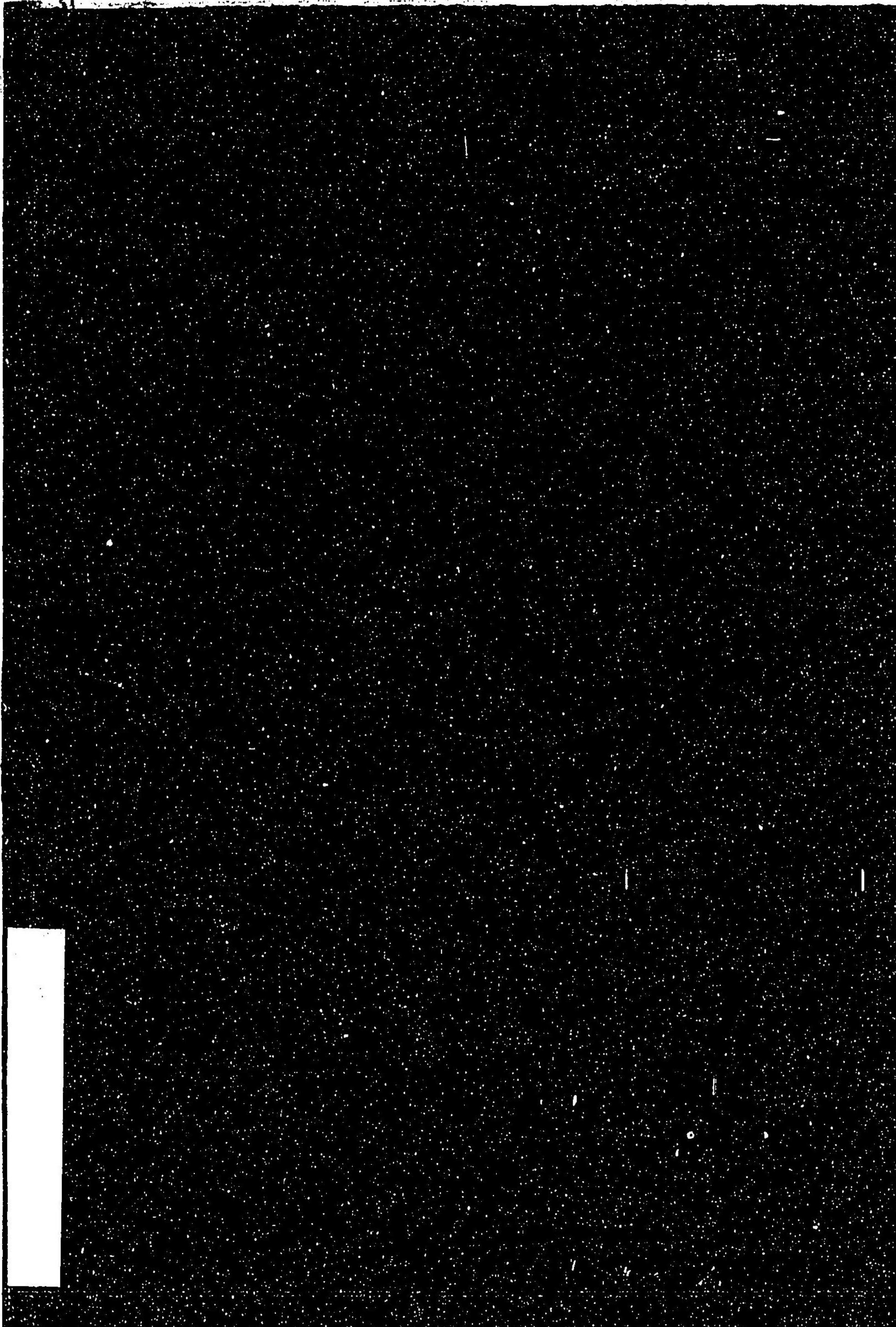














特20

648

郷土誌

国立国会図書館

025322-000-8

特20-648

郷土誌

枚田小学校

M43

ADC-2756

